

教育福祉委員会要求資料

令和2年11月
教育委員会

1. 竹の里小学校・福西小学校・西陵中学校の児童・生徒数，学校数，教職員数について（令和2年5月1日現在）
2. 西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会 一次統合校の校名要望書（令和2年10月29日付け）
3. 中学校給食におけるご飯量選択制の試行実施について

1. 竹の里小学校・福西小学校・西陵中学校の児童・生徒数、学校数、教職員数について（令和2年5月1日現在）

1. 児童・生徒数について

学校名	項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	育成	合計
竹の里小	児童数	29	24	31	30	22	25	4	165
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
福西小	児童数	46	40	39	32	45	36	5	243
	学級数	2	2	1	1	2	1	2	11
西陵中	児童数	51	65	69	—	—	—	4	189
	学級数	2	2	3	—	—	—	2	9

※ 育成学級の児童・生徒数は各学年に含まず

2. 教職員数

学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	給食 調理員	管理 用務員	合計
竹の里小	1	1	13	1	1	1	2	1	21
福西小	1	1	14	1	0	1	2	1	21
西陵中	1	1	17	1	0	1	0	1	22

要

望

書

平素は、西陵中学校区の教育の進展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、私たち「西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会」は竹の里小学校・福西小学校を
統合し、西陵中学校を合わせて、施設一体型の小中一貫教育校を創設していただくよう、令
和元年七月三十一日に要望いたしました。その後、令和七年四月の円滑な開校に向けて、貴
教育委員会とも連携し、精力的に諸準備を進めています。

そうした中、福西小学校敷地に建設されます新校舎の整備に向けては、現在、順期に
作業を進めていただいているところであり、建設工事に際して、令和四年四月に竹の里小学
校と福西小学校が、竹の里小学校敷地において一次統合される予定であります。

一次統合にあたり、「西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会」におきまして、校名を慎
重に検討してきた結果、次のとおり地元案を決定いたしました。選定理由と合わせて、ご報
告いたしますので、私たちの思いを尊重し、校名を決定いただきませうと要望いたします。

【一次統合の校名の地元案】

たけのさと

竹の里

【理由】

竹の里小学校の敷地、現校舎を活用した統合であり、現在の校名とすることで、児童、
保護者の負担を少なくするとともに、小中一貫教育校の開校準備に注力できるため。

一次統合に際しては、対等な統合として両校の特色を融合したより良い教育内容を構築し、
小中一貫教育校につながる学校づくりに尽力していただくようお願い申し上げます。
なお、小中一貫教育校の校名につきましては、地域住民の意見も踏まえて創設協議会で検
討し、地元案を決定した後、別途、要望させていただきます。

令和二年十月二十九日

京都市教育委員会 様

西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会

代表

井上 愛子

3. 中学校給食におけるご飯量選択制の試行実施について

(1) 概要・経過

- ① 生徒一人一人が、自らの体格や運動量等を踏まえた必要なエネルギー量を理解し、適切な量を選ぶことができるようにするとともに、生徒が中学校給食を利用しやすくするため、平成31年1月から、ご飯量を従来の標準(250g)に加え、±40gとする3段階を設定し、3校で試行実施。試行した3校では、約4割の生徒が、標準以外のご飯量を選択。
- ② こうした中、令和元年度に実施した「中学校給食の充実及び食育の推進に関する実態調査」で、約5割の生徒が「ちょうど良い」と回答する一方で、約3割の生徒が「量を減らしてほしい」と回答。
- ③ 実態調査の結果も踏まえ、今後の全校実施に向け、令和3年1月から試行実施校を9校に拡大して実施予定。

(2) 実施校

年度	期間	学校名	調理委託業者
平成30年度	1月～3月	洛水中, 桃山中, 向島中	㈱ファーストフーズ 上鳥羽工場
令和元年度	4月～3月	洛水中, 桃山中	
令和2年度	4月～3月	洛水中	デリカハウス㈱
	1月～3月	嘉楽中, 北野中, 近衛中	
		七条中, 西京極中, 桂中	㈱ファーストフーズ 本社工場
		久世中, 花山中	㈱ファーストフーズ 上鳥羽工場

(3) ごはん量

	ご飯量
A	290g
B	250g
C	210g

- ・標準(従来)のご飯量は250g
- ・給食申込の際にご飯量を上記ABCから選択
- ・給食費は単一料金(1食310円)